せとやこども園だより

ホームページ

園の目標　元気な子・考える子・自立する子

“もしものとき”に備える　～ 園児の避難訓練 ～

１歳児　揺れが止まるまで机の下でじっと我慢

　４月当初、訓練とはいえ常と異なる雰囲気に泣いてしまう乳児もいました。
　しかし、訓練を重ねる内に、保育者にしっかりと守られていることがわかり、泣くのを我慢できるようにもなりました。

　３歳以上の幼児は、どんな状況でも騒いだり話したりすることなく、落ち着いて行動できるようになっています。

合言葉は …　ダンゴムシ

　訓練！訓練！　ただ今、地震が発生しました。園児のみんなはダンゴムシになって、机の下に隠れてじっとしていましょう…。

　地震を想定した訓練は、このような緊急放送から始まります。
　地震、水害、火災、不審者の侵入。
　いつ何が起こるかわからない場合に備え、園では月に１度、園児の避難訓練を実施しています。

水着に着替えた直後の緊急放送で園庭へ避難！

“万が一”に備える　～ 職員の消火・救急訓練 ～

　園児の避難訓練とは別に、緊急時に適切な対応ができるよう職員研修を行っています。
　４月はアナフィキラシーショック（虫刺されや食物アレルギー等の急性中毒症状）への対応を研修しました。８月は藤枝消防署の署員を講師に、消火・救急救命訓練を実施。心臓マッサージをはじめとする救命措置の具体もご指導いただきました。
　また、毎月１日には職員による施設点検を行い、安全な環境維持に努めています。

水消火器による消火訓練

人形で心臓マッサージ

ＡＥＤの使い方を真剣に聞く

園の目標　元気な子・考える子・自立する子

よりよい保育を目指して　～職員研修～

乳幼児の保育は、子どもへの愛情を基盤にして専門的な知識と技術の向上が絶えず求められます。

しかし、園外で研修する機会と研修に参加できる職員は限られるのが現実です。

このため、指導力向上には日々の実践の振り返りがとても大切になってきます。

振り返りは、各担任が学級の園児一人一人の様子を、毎日、保育日誌に書き残すことで自身の指導を反省します。

また、年に数回、他の学級の保育の様子を互いに観察し合います。そこで得た気づきを園内の研修会議で共有し、各自の指導力向上に役立てています。

保育観察で気づきをメモする職員（写真奥）
メモをもとに後日、改善策を話し合います。

のっぽの柱が目印に

～ 新しく標柱を建てました ～

高さ4m、太さ35cmの桧柱は青空を突き抜けるかのようです。

このほど、県道からの園への進入口地点に園の案内標柱を新しく建てました。

これまで、初めて園を訪れる人は県道から奥まった位置にある園舎に気づかず通り過ぎてしまうことがありました。今後は、新しい標柱が目印となって、迷わずに来ていただけるようになると思います。

見て！ひとりでもできるよ！

＝乳児もニッコリ かわいい滑り台＝

昨年度の学校評価で「乳児が安心して遊べる園庭遊具が欲しい」との意見がありました。これを受けて新たに購入した遊具が、9月1日に搬入されました。

かわいい形と色の滑り台に園児も大喜びです。

カーブミラー設置

８月末、中山公園忠霊碑の県道脇にカーブミラーを設置していただけました。

県道に出る際の見通しが効くようになり、安心が一つ増えました。